

じしん
地震に
そな
備えよう！

さいたま市防災センター
防災展示ホール



さいたま市

外にいるとき

①建物のそばは危険！

- 割れた窓ガラスや外壁、看板が落ちることもあるので、建物のそばには近寄らない。
- 頭をバッグなどで守りながら広い安全な場所へ移動する。
- 危険な物には近づかない！
- 自動販売機、ブロック塀、電柱、看板など、倒れる危険のあるものに注意。
- 切れて垂れ下がった電線には絶対に近づかない。

そのほかの場所にいるとき

①デパートなどにいたら

- 棚のそばには近寄らない。
- エレベーターは使わないで、店員の指示に従って階段で避難する。
- エレベーターの中に入ったら
- 地震を感じたらすぐに全部の階のボタンを押して、最初に止まった階で降り、階段で避難する。
- 閉じ込められた場合は、非常コールを押し続けて助けを待つ。
- 天井から無理に脱出しない。

②電車の中に入ったら

- 電車は緊急停止をするので、ポールなどにしっかりつかまる。
- 勝手に線路に降りるのは危険、乗務員の指示で避難する。

地震がおこったら どうする？！

家にいるとき

①身の安全を守る

- 丈夫な机やテーブルの下にもぐり、揺れがおさまるのを待つ。
- ※大きな揺れはおよそ1分前後

②火の始末をする

- 揺れがおさまったら、火を消す。電気器具は、プラグを抜く。

③逃げ道をつくる

- 玄関ドアや部屋の窓を大きく開けて、避難できるようにする。

④外へ逃げるときはあわてない

- 屋根がわらや窓ガラス、看板などが落ちてくることもあるので、むやみに外へ飛び出さない。
- 家が倒れそうなときは、落下物に注意しながら外へ避難する。

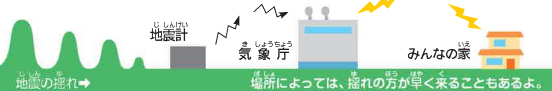
気象庁震度階級

0	1	2	3	4
人は揺れを感じない。	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。つり下がっている電灯などがわずかに揺れる。	屋内にいるほとんどの人が揺れを感じ、棚の食器が音をたてることがある。	眠っている人のほとんどが目覚めます。部屋の不安定な置物が倒れる。歩行中の人も揺れを感じる。
5 (弱)	5 (強)	6 (弱)	6 (強)	7
家具の移動や、食器や本が落ちたり、窓ガラスが割れることがある。	タンスなど重い家具や、外では自動販売機が倒れることがある。自動車の運転は困難。	立っていることが難しい。壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。	立っていられず、はわないと動くことができない。重い家具のほとんどが倒れ、戸がはすれて飛ぶ。	自分の意志で行動できない。大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する。

緊急地震速報って知ってる!?



地震計が、はじめに来る弱い揺れをすばやくキャッチし、情報を気象庁に送るよ。
気象庁からの情報は、揺れが来るよりも早く、みんなの家のテレビなどからお知らせします。



場所によっては、揺れの方が早く来ることもあるよ。

用意しておくもの(持出品)

- 貴重品 現金や健康保険証などの重要書類のコピー
- 非常食品 乾パン・缶詰・栄養補助食品など調理せずにそのまま食べられるもの
- 飲料水 ペットボトルの水を用意
- 携帯ラジオ AMとFM両方聞けて、小型で携帯しやすいもの(予備電池用意)
- 懐中電灯 できれば一人一台(予備電池用意)
- 応急医薬品 ばんそうこう、包帯、薬など。
- 生活用品 皿やコップ、割り箸、缶きり、栓抜き、タオル、ティッシュペーパーなど
- その他 下着、上着、靴下などの衣類、軍手、雨具、ライターなど

日ごろの備え(備蓄品)

- 飲料水 一人一日3リットルを目安にペットボトルの水を用意
- 食糧品 乾パン、缶詰、レトルト食品、梅干、調味料、チョコレート、アメなどを用意
- 燃料 卓上コンロ、携帯コンロ、固形燃料、ろうそく、新聞紙など。ガスボンベの予備
- 生活用水 風呂に水をためておく
- 衛生用品 洗面用具、トイレトペーパー、携帯用トイレなど
- 防寒用品 毛布、寝袋、使い捨てカイロ、新聞紙
- 調理用品 なべ、やかん、キッチン用ラップ(食器にかぶせて使用すると洗わなくてよい)
- その他 ポリタンク、バケツ、ビニールシート(敷物、雨よけ)、布製ガムテープ

日ごろから
地震に
備えておこう！



さいたま市防災センター 防災展示ホールのご案内



×は震源

防災展示ホールでは
過去の大地震が
体験できるよ

北海道十勝沖地震

2003(H15)年9月26日(M8.0)
死者 1名
不明 1名
負傷者 849名

新潟県中越沖地震(新潟県上中越沖)

2007(H19)年7月16日(M6.8)
死者 15名
負傷者 2,345名

能登半島地震(能登半島沖)

2007(H19)年3月25日(M6.9)
死者 1名
負傷者 356名

宮城県北部地震(宮城県中部)

2003(H15)年7月26日(M6.4)
負傷者 677名

新潟県中越地震(新潟県中越地方)

2004(H16)年10月23日(M6.8)
死者 68名
負傷者 4,805名

鳥取県西部地震

2000(H12)年10月6日(M7.3)
負傷者 182名

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)

1995(H7)年1月17日(M7.3)
死者 6,434名
不明者 3名

展示メニュー

- 防災劇場
- 消火体験
- 防災なんでもポケット
- 119番の通報訓練
- 地震体験室
- 煙体験室
- 応急救護訓練室
- 防災パネル
- 防火衣着装体験
- 防災物品展示 など

来館のご案内

バスのご案内(国際興業バス)

- 大宮駅東口4番乗場 自治医大医療センター行き(日曜日午前は運行なし)
- 大宮駅東口7番乗場 新浦・自治医大線在大宮駅当止り行き(土曜日・日曜日開館時間前運行なし)
- 上記「自治医大医療センター」入口下車 徒歩約1分
- 大宮駅東口6番乗場 行き先問わず「天沼町」下車 徒歩約7分



●JR大宮駅から徒歩30分

開館時間 ● 午前9時～午後4時30分

入館料 ● 無料(団体で利用される場合は、あらかじめ申し込んでください)

休館日 ● 毎週月曜日、国民の祝日(日曜日に当たる日を除く)、
年末年始(12/29～1/3)
※都合により変更になることもあります

駐車場 ● あり

さいたま市防災センター防災展示ホール

〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町1-893

TEL 048-648-6511 FAX 048-648-6530